

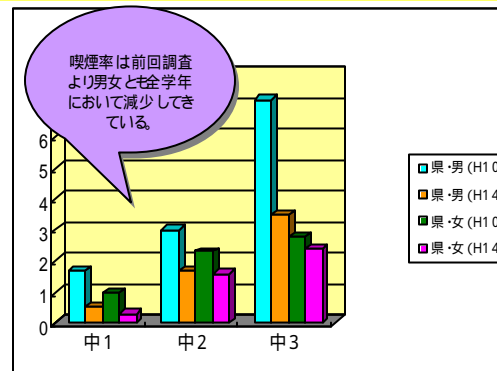


保健所からのひとこと!

県内全中学校118校のうち62校から協力を得て行われた「中学生の喫煙および飲酒に関する調査」の報告書が平成14年12月にまとめられました。(奈良県中学校生徒指導研究会と奈良県福祉部健康局健康対策課との共同実施による調査)今回はその報告から見える県内の中学生のたばこ状況と課題について情報提供いたします。

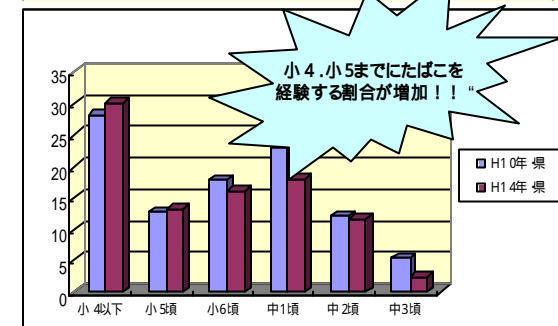
県内の中学生がたばこを吸っている割合は?? はじめてたばこを吸った年齢は??

中学生の現在の喫煙率 (%)



喫煙率は前回調査より男女とも学年において減少してきている。

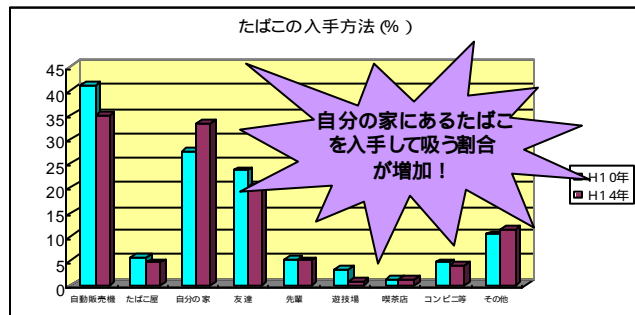
はじめてたばこを吸った年齢



小4、小5までにたばこを経験する割合が増加!!

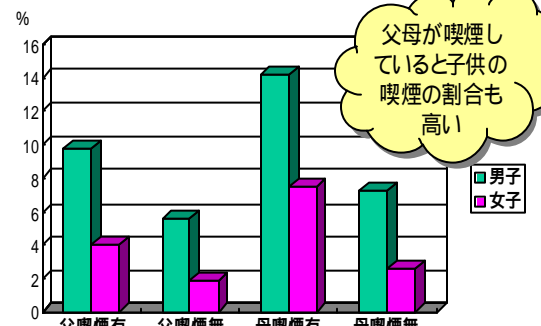
前回の調査(H10年度)より、男女ともすべての学年においてたばこを吸っている割合は減少しました。しかし「小4まで」、「小5頃」にはじめてたばこを経験する割合が前回調査より増加しています。

たばこの入手場所 (%)



自分の家にあるたばこを入手して吸う割合が増加!

父母の喫煙習慣と中学生の喫煙率の関係

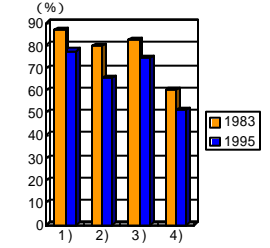


父母が喫煙していると子供の喫煙の割合も高い

子どもは「自動販売機」自分の家からたばこを手に入れて吸っている事が多い状況です。全国調査では父母が喫煙していると、その子どもが喫煙する割合が高くなる事が報告されています。

中学生の規範意識の変化

- 1)他人の放置自転車に乗る
2)自宅でたばこを吸う
3)他人の傘を無断でさして帰る
4)友達の優勝を祝って酒を飲む



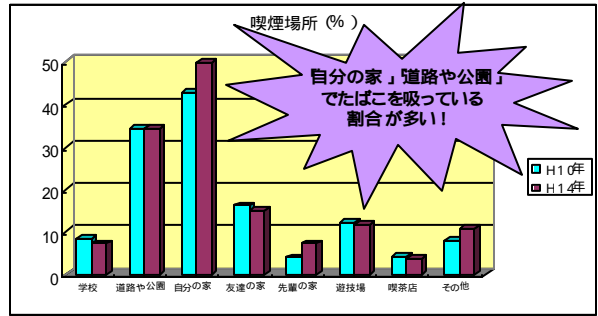
タバコはゲートウェイドラッグ

タバコの延長にはアルコール シンナー 麻薬

タバコは身近で合法的な入口

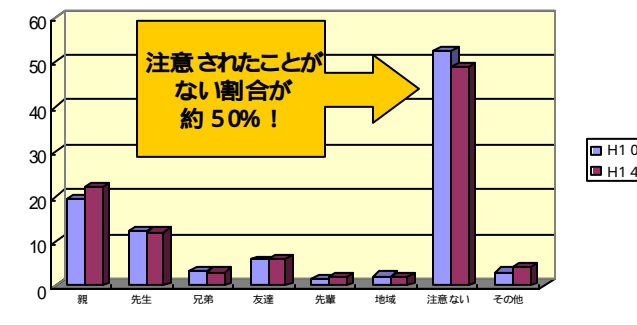
中学生のたばこに対する規範意識が低くなってきていることも報告されています。以上のことから子どもがたばこを吸いやすい条件が生活の中に整ってしまったと言えるのではないのでしょうか。

喫煙場所



自分の家、道路や公園でたばこを吸っている割合が多い!!

喫煙の注意や指導を受けたことがあるか (%)



注意されたことがない割合が約50%!

子どもは「自分の家」道路や公園でたばこを吸っている事が多い状況です。また、たばこを吸っている子の約50%は「たばこを吸うことを注意された経験がない」という状況にあります。

「子どもにたばこを吸わせないための環境づくり」が緊急課題です!!

喫煙防止教育(防煙)
親、社長、医療職、教師が断煙(子どもの前では必ず!!!)
学校での喫煙防止教育の徹底
運動会など学校行事の禁煙化
自動(児童)販売機を規制 対面販売
雑誌、市内広告の煙草広告禁止
マスコミによるキャンペーン